

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-150220

(P2012-150220A)

(43) 公開日 平成24年8月9日(2012.8.9)

(51) Int.Cl. F 1 テーマコード (参考)
G 0 3 B 9/02 (2006.01) G 0 3 B 9/02 A 2 H 0 8 0
 G 0 3 B 9/02 C

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 11 頁)

(21) 出願番号 特願2011-7982 (P2011-7982)
 (22) 出願日 平成23年1月18日 (2011.1.18)

(71) 出願人 310018490
 新亜光学工業株式会社
 東京都豊島区南池袋2丁目15番1号 南池袋光ビル5F
 (74) 代理人 100118566
 弁理士 磯部 年伸
 (74) 代理人 100081341
 弁理士 小林 茂
 (72) 発明者 高田 善夫
 東京都豊島区南池袋2丁目15番1号 南池袋光ビル5F 新亜光学工業株式会社内
 Fターム(参考) 2H080 AA31 AA64

(54) 【発明の名称】 光量調節装置

(57) 【要約】

【課題】厚くなり過ぎることなく、必要に応じて赤外線遮断フィルタを信頼性高く利用することのできる光量調節装置を提供すること。

【解決手段】開口面積を変化させて通過する光量を調節する光量調節機構と、該光量調節機構の開口位置に赤外線遮断フィルタ43を移動させるとともに該赤外線遮断フィルタを当該開口位置から離脱させるフィルタ切替機構と、を備える光量調節装置であって、前記フィルタ切替機構の赤外線遮断フィルタに対面する分離部材110に当該赤外線遮断フィルタを干渉しないように収容する凹形状部(収容空間)110bを設ける。

【選択図】 図8

